

## 平成29年度「施政方針」施策の実績内容

平成29年度施政方針に掲げられた施策・事業の取り組み実績は次のとおりです。

年度末実績自己評価 : ○予定通り実施済、▲一部未達成、×未着手、－その他(該当なし等)

H29施策(事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
<b>◆健康福祉施策</b>					
①子育て支援	<p>「子ども・子育て新制度」に合わせた中央保育園及び岩橋保育園の運営を行うとともに、引き続き町立保育園以外の保育園にも保育を委託し、待機児童の発生の防止に努めます。</p> <p>また、町立保育園では、保育の向上を目指し、引き続き英語指導や伝統文化等に接するプログラムを実施するほか、新規に体操教室の実施に取り組んでいきます。</p> <p>妊娠期から子育て期における支援として、「母子保健事業」、「地域子育て支援拠点事業」、「ファミリー・サポート・センター事業」、「利用者支援事業」を継続し、一層充実した子育て支援を目指します。加えて今年度は、これらの子育て支援を充実させるうえで重要な子育て支援施設の設置工事に着手します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園入園状況 岩橋保育園145人、中央保育園55人、昭苑保育園58人、管外委託6名、管外受託8名、待機児童2人</li> <li>・公立保育園の活動状況 英語指導週1回15分、書道教室週1回、茶道教室年3回、体操教室月1回</li> <li>・地域子育て支援拠点利用者数 (あいあいルーム)延べ5,672人 (しょうえんこどもこそだてルーム)延べ1,038人</li> <li>・利用者支援事業 子育てに関する情報収集及び情報提供の他、教育・保育に関する相談件数 延べ434件</li> <li>・ファミリー・サポート・センター事業 協力会員 20人 両方会員1人 利用会員 31人</li> <li>・ちばMyStyleDiaryの配信</li> <li>・子育て支援施設設置工事を進め、6月開所予定となりました。</li> <li>・子育て支援施設の名称を公募し、「酒々井町子育て支援センター あいあい」と決定しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育カリキュラムの中で英語指導や書道教室等に加え、体操教室を実施することにより幼児期における心身の健やかな成長を促進しました。</li> <li>・地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業を実施することで、乳幼児とその保護者同士の交流促進が図られ、また、保護者の育児不安等の軽減と育児の孤立化を防止することができました。</li> <li>・ファミリー・サポート・センター事業では、育児に協力できる会員と協力してほしい会員(保護者)を結びつけることで、個々のニーズに沿った保育が実施され、育児の負担を軽減しました。</li> </ul>	○	子ども課
②子ども医療費助成	<p>保護者の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費助成事業として、中学卒業までの医療費の保険適用に対する自己負担分を助成します。</p> <p>ひとり親福祉推進事業として、18歳の年度末までの児童をもつ母子家庭の母、父子家庭の父及びその児童等に、医療費等の自己負担分の一部を助成します。</p>	<p>中学校3年生までを対象に、入院・通院・調剤医療費の助成を行いました。</p> <p>子ども医療費助成額(扶助費)59,277千円 (補助対象児2,260人/子ども総数2,590人) (参考)</p> <p>平成26年度59,224千円(補助対象児2,539人/子ども総数2,801人) 平成27年度57,709千円(補助対象児2,484人/子ども総数2,781人) 平成28年度62,043千円(補助対象児2,414人/子ども総数2,709人)</p> <p>ひとり親家庭等の医療費の自己負担分の一部を助成しました。 扶助費3,120千円 補助対象者数243人(助成者数119人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯に対する保健の向上及び経済的負担の軽減を図るため、中学生までの医療費を助成しました。</li> <li>・ひとり親家庭等の経済的負担軽減を図るため、医療費を助成しました。</li> </ul>	○	健康福祉課 子ども課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
③放課後子ども事業	放課後子ども教室は、小学校の体育館などを活用し、地域の方々の協力を得て、様々な体験を通して児童の健全育成を図ります。放課後児童クラブは、民設補助の「酒々井児童クラブ」と公設委託の酒々井小学校「しすいっ子クラブ」、大室台小学校「大(おお)ちゃん児童クラブ」の3クラブにより、それぞれ円滑な運営が図れるよう努めます。	<p>【放課後子ども教室】(週1回) 町内小学校2校の活動場所で、NPO法人B-Net子どもセンターと企画・運営の協定を結び、スポーツや創作活動等を行いました。 登録児童数 酒々井小291人 大室台小310人 合計 601人 年間開催日 酒々井小(火曜日)32回 大室台小(月曜日)25回 年間児童参加延数 酒々井小1,307人 大室台小1,191人</p> <p>【放課後児童クラブ】 小学校に就学しており、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象に、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図りました。 酒々井小学校児童クラブ67人、大室台小学校児童クラブ45人、 学校法人堀口学園酒々井児童クラブ64人 酒々井小及び大室台小学校児童クラブ運営は、保護者や地域住民からなる運営委員会に委託しました。 開所は日曜、祝日、年末年始等を除く月曜日から土曜日までの放課後から夜7時まで実施。(土曜日及び長期休業中は朝7時30分から夜7時まで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の実施により、地域の方や学生による遊びやスポーツや創作活動の取組みができました。</li> <li>・放課後児童クラブの実施により、放課後に児童の安全で安心な居場所を提供し、児童の健全な育成に資することができました。</li> </ul>	○	子ども課
④高齢者・介護支援・予防	災害時要援護者名簿登録制度を推進し、特に、75歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯を対象に、平常時の「見守り」や「声かけ」、非常時の避難支援などを行います。60歳以上の方の要介護状態への移行を予防するための生きがいデイサービス事業や、75歳以上を対象にした老人福祉大会、介護予防や生きがいづくりを目的に80歳を迎えた方の青年式を開催します。高齢者の総合的な支援を行う地域包括支援センターの円滑な運営支援と、ボランティア活動を行う高齢者にポイントを付与する介護支援ボランティア制度を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員を中心とした日常の高齢者宅の訪問、見守り活動を通じて、非常時に備えるための支援活動を行っています。</li> <li>・災害時要援護者名簿登録制度の登録世帯数225件</li> <li>・生きがいデイサービス事業を実施し介護予防の支援を行っています。週3コース(隣保館:水曜会22人金曜会27人)(中央公民館:火曜会23人)</li> <li>・老人福祉大会 9月18日(敬老の日)75才以上の参加者521人 88才(米寿)表彰者28名 (参加者総数549名)</li> <li>・80才の青年式 10月13日 プリミエール酒々井 51名参加</li> <li>・介護支援 ボランティア活動を行う高齢者にポイントを付与する介護支援ボランティア制度を実施し、介護予防の推進を行っています。</li> <li>・ボランティア制度説明会及び研修会 3月19日 参加者12名</li> </ul>	老人福祉大会は、懇談会の意見を参考に開催しました。	○	健康福祉課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑤生きがい 創造支援	高齢者の生きがい支援として、豊かな経験と能力を積極的に活かす為の就業を支援し、健康増進に資するシルバー人材センターの機能充実に向けた支援を行います。	酒々井町シルバー人材センターの機能充実に向け、補助金1,400千円を交付し、会員の技術の習得(剪定講習会、刈払機安全技術講習会等)について支援しました。	高齢者の生きがい支援・健康増進を図ることができました。	○	住民協働課
⑥健康づくり	特定年齢の方に対する乳がん、子宮頸がん、大腸がん、肝炎ウイルス検診及び40歳以上の方の歯科検診を、三師会の協力のものと無料で行います。	健康手帳の交付 240冊 健康相談 来所者延べ643人、電話延べ49件 歯科健康相談 延べ14件 乳がん検診 エコー295人(内クーポン6人) 乳がん検診 マンモグラフィ1方向 1,195人、2方向 57人(内クーポン203人) 子宮頸がん検診 594人(内クーポン123人) 大腸がん検診 2,196人(内クーポン210人)再掲 個別20人 胃がん検診 1,110人 / 肝炎ウイルス検診 92人 結核・肺がん検診 1,746人 / 成人歯科検診 78人 骨粗しょう症予防検診 361人 骨粗しょう症予防セミナー(検査含む) 18人	大腸がん個別検診の導入により、受診しやすい環境を図ることができました。	○	健康福祉課
⑦母子保健	マタニティ・ママパパクラス、妊婦健診、乳児健診、幼児健診、遊びの教室などの従来の事業メニューに加え、新規に妊婦とその配偶者の口腔の健康づくりを目的とした「ママ・パパ歯科検診」を開始します。出産祝品として絵本を配布する「ブックスタート」や、不育症で治療を受けているご夫婦の経済的負担の軽減を図る「不育症治療費助成事業」の実施など、町独自の子育て支援施策を行います。	母子健康手帳交付 110件 新生児訪問指導 103件 / 養育支援訪問 35件 マタニティ・ママパパクラス(3コース実施) 実人数(妊婦 18人 家族 13人)延べ 43人 乳児相談 4か月児 対象者108人 参加者104人(96.3%) 10か月児 対象者123人 参加者110人(89.4%) 1歳6か月児健康診査 対象者138人 受診者126人(91.3%)6回実施 2歳児歯科健康診査 対象者121人 受診者107人(88.4%)4回実施 3歳児健康診査 対象者 110人 受診者 103人(93.6%)6回実施 ママ・パパ歯科検診 ママ18人 パパ10人 幼児健診事後指導 12回実施 198組 親子相談 16回実施 延べ29組 ことばの教室 30回実施 延べ93人 / ブックスタート 113組 なかよしはみがき教室 4回実施 対象者 年長組82人 (酒々井幼稚園:30人、岩橋保育園:26人、中央保育園:9人、昭苑保育園:10人)	妊娠初期から幼児期までに、保健事業を通して切れ目のない支援を実施しました。健診で歯科衛生士の人数を増やしたことで、歯科指導の待ち時間が減り、受診者の負担軽減につながりました。	○	健康福祉課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑧予防接種	乳幼児、学童、生徒及び65歳以上の方等に対して、予防接種を行い個人の健康管理を支援するとともに、感染症の流行防止に努めます。	ヒブ 418人 / 小児用肺炎球菌 423人 / 四種混合 437人 / 単抗原ポリオ 9人 / BCG 114人 / 水痘 207人 / B型肝炎 308人 / 麻しん風しん混合 1期113人、2期122人 / 日本脳炎 634人 / ジフテリア破傷風混合 120人 / 高齢者肺炎球菌 566人 (以上H29年4月～H30年7月2月実施分) / 高齢者インフルエンザ3,112人(平成29年度実績)	予防接種の実施により感染症の流行・防止が図れました。	○	健康福祉課

◆教育文化施策					
①特色ある 幼児教育	豊かで特色ある幼児教育の推進を図るため、町独自に町内の私立幼稚園に補助金を交付します。私立幼稚園に幼児を就園させている保護者の経済的負担を軽減するために、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付します。	私立幼稚園運営費及び教材費補助金 酒々井町内2園に対し、運営費各園200千円、教材費174千円(町内在住園児数174人分)を補助しました。  私立幼稚園就園奨励費補助金 酒々井町、佐倉市、成田市、横芝光町の幼稚園9園に対し、園児206人分、補助金額27,047千円を交付しました。	幼児教育の推進、保護者の経済的負担の軽減のため、幼稚園教育における特色ある活動及び発表会等の事業に対する必要経費や、町内在住園児1人千円を園児の日常使用する教育教材費に補助しました。また、保護者の負担する私立幼稚園利用料に対し幼稚園就園奨励費補助金を交付しました。	○	こども課
②学校教育 の充実	中学校グラウンド拡張整備に向けた諸事業を進め、スポーツ環境の改善を図ります。	中学校グラウンド拡張整備に向け、次の事業を実施しました。 ①基本設計業務 ②用地買収に係る不動産鑑定業務、用地測量及び分筆登記委託業務(2筆・地権者2名) ③用地買収業務(2筆・4,855.97㎡・43,703,730円)	今回買収した用地は、テニスコートの移転予定地であり、一連の事業のスタート箇所と考えているため、購入により事業の進展が見込まれます。	○	こども課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②学校教育 の充実	特色ある教育活動を積極的に推進するため、「小・中学校スクールサポート事業」、「教職員の特色ある教育活動支援事業」などに取り組みます。	「小・中スクールサポート事業」では、各小中学校へスクールサポート指導員を配置することができました。また、「教職員の特色ある教育研究支援事業」では3件の研究に対して合わせて40万円の支援を行いました。	「小・中スクールサポート事業」では、各学校の実態に応じて有効活用でき、学校運営に大きな役割を果たしています。	○	学校教育課
	新規に小中学校の地域学習・地域活動の支援として、教育ファシリテーターを配置し、子どもたちの町に対する愛着心と郷土意識を育むための教材開発等に取り組んでいきます。	教育ファシリテーターの配置により、地域素材を使って教科等の学習内容と関連づけて取り組む「酒々井学」をプログラム化しました。(15事例)また、試行的に実践を始めました。(4事例7実践)	「酒々井学」のプログラム化により教員向けの指導書の完成後、実践例が増え、適切に行うことができました。	○	
	ALT(外国語指導助手)を1名増員して、ネイティブな英語に触れる機会を増やし、異文化理解及びコミュニケーション能力を高め、児童・生徒の学力向上を図ります。引き続き保育園から中学校卒業までの一貫した英語教育を継続し、中学生の国際交流派遣事業では、従来のオーストラリアに加えドイツへの派遣を実施し、ホームステイや現地校での体験学習を通して異文化理解を深め、国際化に対応できる人材を育成していきます。酒々井中学校の3年生全生徒を対象に、英語検定の検定料を助成する「パワーアップE」事業を行います。	・小学校での外国語活動については、5・6年生では各クラス週1回、1～4年生では3週に1回ずつALTを活用した授業を行い、中学校では週5日間、ALTを活用した授業を行うことができました。また、国際交流派遣事業では20名の生徒をオーストラリアへ、10名をドイツへ派遣し、ホームステイや現地校で体験活動をするなど、異文化理解を深めることができました。 ・「パワーアップE事業」では、中学3年生が1月までに行われた全3回の中で英語検定を受検し、3級以上の合格率は34.1%でした。 [合格者数:2級0名 / 準2級3名 / 3級58名 / 4級20名] なお、平成29年度中学3年生の卒業時までの3級以上合格率は36.9%でした。	・国際交流派遣事業では、今年度30名の応募がありました。応募数は増えていないものの、来年度も一定数の参加希望が見込まれます。派遣事業参加生徒の感想等により、外国語習得や異文化理解、日本文化理解の関心が高まったことが把握でき、本事業の目的を達成していると言えます。 ・「パワーアップE事業」では、中学3年生のほぼ全員が英検を受検しました。目標とする英検3級以上の合格率が向上し、英語力向上に大きく役立ちました。	○	
	小学生の通学支援として、新たに無料化を図ったスクールバス運行事業を展開し、安全で安心な通学をサポートしていきます。	・スクールバス運行事業では、3方面(伊篠、馬橋、墨)に運行し、48名の利用児童に対して、無料化を図りつつ安全な運行を行うことができました。	・スクールバスの運行により、3方面の登下校について安全な環境が保たれています。	○	

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②学校教育 の充実	適応指導教室「ふれあいルーム」の活用を継続し、不登校児童・生徒等を対象にカウンセリングや学習指導、小集団活動等を組織的・計画的に行い、集団対応と学校復帰を支援します。	適応指導教室には、中学生6名が通級していました。児童生徒以外にも保護者等の相談にも対応しました。	・適応指導教室に昨年度まで通級していた中学3年生は、全員進学することができました。また、今年度中に学校復帰を果たした生徒が2名います。適応指導教室は不登校児童生徒の減少のために大きな役割を果たしています。	○	学校教育課
③食育の推進	栄養教諭による食育指導を行い、学校給食を通して子どもたちに食の理解や地域社会の環境や文化、栄養改善及び健康の増進、社会性や食事のマナーを身につけるなど、基礎的な理解の修得を図ります。	【栄養教諭による給食指導】 年間を通して、各学年に応じたテーマによりクラス単位で指導しています。食材や食を提供してくれる人に対して感謝の気持ちを持つことや、健康で健全な学校生活を送るうえで必要な栄養素、食生活を見直すきっかけづくりなどの指導を行いました。  【酒々井町産農産物の積極的な使用】 酒々井町直売組合と積極的な連携を図り、旬の野菜や果物、味噌等の加工品を給食に使用しました。週4回提供される主食のご飯は100%酒々井産のお米を使用しています。	栄養教諭がクラス毎に指導した後で、子ども達と一緒に給食を食べます。子どもたちの食への関心を高めるだけでなく、個々の食事環境や嗜好を意識しながら食べる様子を見ることで、栄養バランスや食の理解につながる声かけを直接行うことができました。また、酒々井町で生産された新鮮な野菜や果物を取り入れることにより野菜離れの防止や季節を感じる献立作成に努めました。	○	給食センター
④文化財保存	本佐倉城跡の保存・活用のための入口広場整備事業を行い、本佐倉城跡入口広場までの上下水道管の敷設工事を実施します。周知・普及事業として、これまで行った調査の概要を庁舎や公民館などで展示するほか本佐倉城見学会を実施します。 江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並保存整備を行い、観光資源として活用することで交流人口の増加を図るとともに、昨年度に引き続き交流支援拠点整備に係るマスタープランの作成に取り組みます。 「房総の牧」について日本遺産の申請に向けてのストーリーの作成、関係機関との調整及び周知事業を実施します。 約3万年前の酒々井町最古の人類生活痕跡であり日本最大級の環状ブロック群を有する「墨古沢南Ⅰ遺跡」の国史跡指定を目指し、保存整備事業を継続して実施します。	・本佐倉城跡整備事業については、入口広場整備事業の一環として上水道の敷設工事を実施予定でしたが、詳細設計を委託により行ったところ、敷設距離の延伸や工事時の土止め作業の追加等から当初の想定予算より多額の費用がかかることが判明したため、工事は来年度実施することとなり、工事工程等の調整を行いました。普及事業では3月11日に佐倉市と共催で見学会を実施したほか、中央公民館ロビーや本庁舎入口での展示を継続して実施しました。(進捗率50%) ・まちの顔づくり推進事業では町並保存整備、活用のための交流支援拠点整備に係るマスタープラン「歴史文化保存活用基本計画」の作成を地方創生交付金を活用して終了させました。(進捗率100%) ・「房総の牧」の日本遺産申請に向けての取組みについては、プロポーザル方式により計画策定支援業務委託の業者選定・契約を行い、具体的な資料の取りまとめを進めており、申請内容・ストーリーの作成を来年度前半にかけて継続して行う予定です。また今後は関係機関や連携団体との調整及び周知も進めていきます。(進捗率50%) ・墨古沢南Ⅰ遺跡保存整備事業では、予定通り10月からの3か月の発掘調査を完了させ、遺跡北側の分布範囲が判明し、規模(67×60m)や遺跡の遺存率が判明するなど成果を得ています。また保存・調査を検討する有識者による調査指導委員会についても2回の会議の他、現地調査指導等を実施しました。(進捗率100%)	平成27年度に策定した「酒々井町歴史文化基本構想」、本年度策定した「歴史文化保存活用基本計画」に基づき、町文化財の総合的な保存・活用を今後進めていくことで、文化財のより効果的で幅の広い利活用事業を行うことができ、文化財保護の普及に努めることができます。	○	生涯学習課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑤生涯学習	<p>子ども会や青少年相談員と連携したスポーツ大会、今年度酒々井町で開会・閉会式が開催される印旛郡市民体育大会や酒々井町ライトスポーツクラブなどを通じて、町民の文化・スポーツ活動のさらなる活性化を図ります。</p> <p>人生の節目を祝福する「新成人のつどい」や60歳を迎える方々の地域デビューを支援する「盛年式」を開催します。</p> <p>「酒々井町青樹堂」で、各種講座やイベントを幅広い年代に提供していきます。さらに、「酒々井町青樹堂」を町独自のブランドとして充実させ、地域づくりに活躍する人材を育成します。</p>	<p>○スポーツ推進委員・体育協会・順天堂大学等の協力を得て、各種スポーツ大会・教室を開催しました。参加者数4,460人(前年比△316人、6.6%の減少)</p> <p>○成人式(新成人のつどい) 1月7日 新成人参加者139名</p> <p>○盛年式 2月25日 参加者125名</p>	<p>○各種スポーツ大会・教室の開催: 町民のスポーツへの関心を高め、健康づくり、仲間づくりのきっかけになりました。</p> <p>○成人式・新成人のつどい: 新成人が未来への夢と希望を持ち、また酒々井町への郷土愛を深めることができる式典となりました。</p> <p>○盛年式: 町内の活動団体の紹介、交流会等を通して、今後、地域で活動する契機場の提供することができました。</p>	○	生涯学習課 中央公民館
⑥学校教育支援	<p>町民の持つ経験や知識を子どもたちに伝承し、地域のボランティアと学校との連携の支援を目的として、各小中学校に「地域ルーム」を設置し、調整役としてコーディネーターを配置して支援を強化していきます。</p> <p>中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るため、「地域未来塾」を設置し、教職経験や地域住民の方々の協力を得て、学習支援を行います。</p> <p>小学校児童を対象とした補習と講座を土曜日に公民館で開催し、家庭教育指導員、社会教育指導員等の協力により、地域と連携した教育支援を行います。</p>	<p>町内3小中学校とも、児童・生徒により良い教育環境を与えることを目的に、コーディネーターが、学校からの要望と地域住民や保護者からなるボランティアをつなぎ、環境整備・授業補助などの活動を実施しました。</p> <p>○酒々井小: 活動日数55日 下校付添・ミシン補助・昔あそび補助・総合学習補助・トマトの苗植え・環境整備 等</p> <p>○大室台小: 活動日数65日 下校付添・ビオトープ整備・農園整備・プール授業監視・ミシン補助・音楽授業補助(箏演奏)・環境整備 等</p> <p>○酒々井中: 活動日数40日 地域未来塾・学校行事補助・ホームページ作成</p>	<p>児童1人1人にきめ細かい支援を行うことができ、地域住民の方との交流も図ることができました。学校行事や授業の補助を保護者や地域住民の方が行うことにより、学校運営において教員の負担が軽減し、児童・生徒の学習指導により専念できるようになりました。中学校では「地域未来塾」を実施し、生徒の学習習慣の定着と基礎学力の向上を図ることができました。</p>	○	生涯学習課
⑦青少年健全育成	<p>日本で一番寒い町として知られている「北海道陸別町」との児童交流事業を行い、日本有数の星空観察や美しい自然環境の中での体験学習ができる機会を作ります。</p>	<p>8月23～25日(2泊3日)児童20名(引率4名)の参加により実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸別小学校児童との交流</li> <li>・星空観察</li> <li>・陸別鉄道体験</li> <li>・関寛齋資料館見学 他</li> </ul>	<p>事前学習や陸別小の児童との交流や北海道での自然体験により酒々井町の良さも学び、自立心の向上や心の豊かさを育むことができました。</p>	○	生涯学習課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑧中央公民館耐震化	中央公民館は、今年7月末の完成を目指し耐震補強工事を実施します。工事期間中は、安全を第一に考え、全館の貸館業務を中止します。	既に工期内(7月末)に工事が完了し、8月1日より貸館業務を再開しています。引き続き町民が安心して利用できるよう施設設備の充実を図ります。	町民の学び、憩いの場としての役割及び地震等の災害から利用者の生命を守ると共に、被災後の応急対策、復旧・復興、避難者の受け入れ等の重要な地震防災機能を果たす防災拠点としての役割を果たすことができます。	○	中央公民館

◆生活環境施策					
①消防・防災	日ごろの広報活動や防災訓練等を実施し、町民の防災意識の高揚を図るほか、自主防災組織に対して、防災資機材の購入に際し支援を行うとともに、防災基盤の強化を促進していきます。その一環として、防災用資機材や備蓄品等を格納する施設の設置整備を継続していきます。防災行政無線の機器更新及びデジタル化を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災広報活動や防災訓練では、ボランティア団体、社会福祉協議会及び中央台4丁目自治会の協力により、要援護者避難訓練を実施しました。また、各自治会やボランティア団体で実施する防災訓練等へ町で備蓄している災害用備蓄食料品等を提供し、自治会等への支援を行うとともに、職員が参加し広報活動を行いました。</li> <li>・自主防災組織への防災資機材購入支援では、ふじき野1丁目及び上本佐倉1丁目自治会に防災資機材購入にあたり、それぞれ50万円の補助金を交付しました。</li> <li>・防災行政無線のデジタル化では、町内に設置している子局10局(「京成酒々井駅前」「酒々井小学校」「小鹿公園」「夾竹桃公園」「昭和公園」「ちびっこ天国入口」「根古谷」「ネオポリス」「墨」「墨ふれあい館」)を更新するとともに、防災行政無線からの放送が聞き取りにくい場合や聞き逃した場合への対応として、電話(フリーダイヤル)により放送内容を確認できる電話音声案内サービス「テレホンサービス」や防災行政無線の放送内容を文字で確認できる「メール配信サービス」を開始し、多様な情報伝達手段の整備を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者避難訓練に自治会の参加や自治会で実施する防災訓練への職員の参加及び自主防災組織への補助金交付を実施したことにより、住民における防災意識の高揚及び自主防災活動の促進が図れました。</li> <li>・防災行政無線デジタル化については、これまでのアナログ方式の運用では、情報伝達手段が限られていましたが、今回の電話音声案内サービス及びメール配信サービスを整備したことにより、多様な情報伝達手段の確保が図れました。</li> </ul>	○	総務課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②交通安全・防犯	<p>自治会、防犯ボランティア活動団体との協働による防犯対策を推進し、地域のパトロールなどを通じて防犯や交通安全に対する住民意識の高揚を図るとともに通学路などの交通安全対策を総合的な視点から検討し、施設の整備等を行います。</p> <p>地域防犯力の向上を図るため駅前交流センターに隣接する場所へ設置した「防犯ボックス」に、平成29年度より警察官OBを配置し、運営を行います。</p>	<p>・防犯ボックス事業では、千葉県の補助金を活用し、地域防犯力の向上を図ることを目的に昨年度、JR酒々井駅東口ロータリーに設置した防犯ボックスに警察官OB3名を勤務員とし雇用し、自主防犯団体(自治会、ボランティア団体)との合同パトロールや街頭監視、子供や女性の見守り活動を実施し、地域の防犯力の向上を図りました。</p> <p>【防犯ボックスの主な活動実績】</p> <p>①自主防犯団体に対する指導・助言147回 ②合同パトロール166回(自主防犯団体9団体参加、参加延べ人数1,349人) ③見守り活動1,047回 ④街頭監視活動1,580回</p> <p>・防犯カメラ設置事業では、犯罪の起こりにくい環境づくりのため、千葉県の補助金を活用し、駅の周辺や通学路を中心に町内に4台の防犯カメラを設置しました。</p> <p>・防犯啓発事業では、町内の防犯ボランティア団体と犯罪防止及び防犯活動の推進、犯罪情報等の提供を目的に、毎月「防犯連絡会」を行いました。また、千葉県安全で安心なまちづくり旬間期間に佐倉警察署、防犯団体と協力し町内で集客力のある駅前及びスーパー店舗前において、犯罪被害の未然防止や防犯意識の高揚を図ることを目的に防犯啓発キャンペーンを実施しました。</p> <p>・交通安全対策では、佐倉交通安全協会酒々井支部、佐倉警察署と協力し季節ごとの交通安全運動期間に国道交差点等での街頭監視、街頭啓発キャンペーンを実施し、交通安全の意識の高揚を図るとともに、正しい交通ルールやマナーを身につけるため、小学校2校において交通安全教室を開催しました。また、交通安全に係わる関係機関(学校、PTA、交通安全協会、警察、国、県、町)による町内の通学路における交通危険箇所の通学路点検を実施しました。</p>	<p>犯罪抑止や交通事故の減少につながりました。</p>	○	総務課
③環境部門	<p>環境に配慮した住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)及び定置用リチウムイオン蓄電池システムの設置費用の補助事業をそれぞれ継続します。</p> <p>住民が簡単に環境負荷を計算できる「環境家計簿」の普及を進めます。</p>	<p>【設置費用補助の実績】</p> <p>①住宅用太陽光発電システム 9基 761,000円 ②家庭用燃料電池システム(エネファーム) 3基 600,000円 ③定置用リチウムイオン蓄電池システム 6基 1,200,000円</p> <p>環境負荷を計算できる「環境家計簿」の普及については、内容を更新しホームページ上にアップしました。</p>	<p>自然エネルギーを利用する創エネ設備の住宅が普及することで、地球温暖化対策としてCO2の排出削減や資源エネルギー消費の歯止め効果があったものと考えます。</p> <p>環境家計簿の普及啓発効果として、どのくらいの家庭が利用されているか今後調査していきます。</p>	○	経済環境課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆都市基盤施策					
①まちづくり 施策	<p>酒々井町景観基本条例に基づき、町の良好な景観の形成を図るため、無電柱化のまちづくりを推進していきます。</p> <p>木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、耐震診断及び耐震改修工事に係る費用の補助を、また、雨水の流出抑制や生活環境の向上を図るため、住宅リフォーム費用の補助を行います。</p> <p>昨年度実施した空き家の実態調査をもとに、新たに「空き家対策計画の策定」に取り組むなど「空き家対策事業」を本格化させます。</p>	<p>【無電柱化】町道02-009号線において、電線共同溝工事を実施しました。(進捗率100%) 電線共同溝延長77m、特殊部3基、分岐樹3基 ほか</p> <p>【住宅耐震】木造戸建て住宅の耐震診断:交付申請なし " 耐震改修工事:交付申請 2件</p> <p>【住宅リフォーム】17件交付申請があり全件に補助金を交付しました。</p> <p>【耐震シェルター等】木造住宅の耐震シェルター・防災ベッドへの補助金:耐震シェルター1件の交付申請があり補助金を交付しました。</p> <p>【空家等対策計画】計画には、適切な管理の促進に関すること、対策の実施体制、住民等からの相談への対応、空家等の利活用の促進等の方向性を検討し、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な方針を定めました。なお、策定にあたっては、法務、不動産、建築、福祉等に関する学識経験者で構成した酒々井町空家等対策協議会を開催し、専門的なご意見を伺いました。</p>	<p>・無電柱化により「安全で快適な通行空間の確保」や「都市景観の向上」が図られました。</p> <p>・耐震診断費補助、耐震改修工事費補助により、地震時の木造住宅の安全性を高め、災害に強いまちづくりを推進しました。</p> <p>・住宅リフォーム補助により、町民の生活環境の向上と町内産業の活性化を図られました。</p> <p>・「耐震シェルター」や「防災ベッド」の整備補助により、特に避難弱者となる高齢者・障害者の方が命を守る装置を比較的簡単かつ安価に設置でき、耐震化の促進が図られました。</p> <p>・空家等対策計画で、空き家の実態を把握・整理し、様々な課題について方針・方向性等を定めたことにより、今後、管理不適切空き家の減少や空き家の利活用が見込まれます。</p>	○	まちづくり課
②道路の整備	<p>通学路等の安全確保を優先とした改良工事や狭あい箇所の局部改良、舗装の打ち替え工事及び橋梁の長寿命化に向けた計画的補修工事など、交付金を有効に活用しながら順次実施していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーブミラー新規設置要望2箇所設置</li> <li>・ガードパイプ新規設置要望1箇所設置</li> <li>・通学路におけるフェンス改修1箇所実施</li> <li>・JR酒々井駅西ロータリー周辺街路灯柱塗装4基</li> <li>・東酒々井地先道路照明柱塗装4基</li> <li>・町道2B-017号線舗装修繕工事 延長250m(進捗率100%)</li> <li>・町道2B-022号線舗装修繕工事 延長480m(進捗率100%)</li> <li>・町道2B-017号線舗装修繕工事その2 延長250m(進捗率100%)</li> <li>・町道1B-082号線舗装修繕工事 延長330m(進捗率100%)</li> <li>・町道1B-051号線拡幅工事 (進捗率100%)</li> <li>・飯積橋橋梁補修工事 (進捗率100%)</li> <li>・無名橋(07)橋梁補修工事(進捗率85%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーブミラー、ガードパイプ設置による交通の安全性確保</li> <li>・区画線引き直しによる交通の安全性確保</li> <li>・フェンス改修による通学路の安全性確保</li> <li>・舗装修繕による交通の安全性確保</li> <li>・道路照明柱等の塗装実施による景観の向上及び道路交通の安全性の確保</li> </ul>	▲	まちづくり課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
③公園の整備	老朽化した町内の都市公園の遊具について、健康遊具を取り入れた設置・改良を順次行っていきます。また、中央台公園の利便性を向上させるため、排水改良を行います。	街区公園遊具改修工事は整備を完了。(進捗率100%) 中央台公園排水対策工事は整備を完了。(進捗率100%)	街区公園遊具改修工事を実施し、定期点検結果から老朽化等により安全性の低くなった遊具を計画的に更新し、安全性の向上を図りました。 中央台公園排水対策工事により、降雨後の広場雨水排水が速やかに排除されるようになりました。	○	まちづくり課

◆産業経済施策					
①農業施策	高崎川の法面崩落による護岸改修工事を実施します。 農業用機械の取得等について支援し、地域農業の振興に資するため「担い手育成支援事業」を継続していきます。 農業基盤整備事業として過去に実施した債務負担行為の解消及び国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金の一部を基金に積み立てることにより、将来負担の軽減を図ります。	①高崎川の護岸改修に伴う工事(繰越分)を完了 工期 4月4日から2月28日 ②「担い手育成支援事業」 申請者6名(内認定農業者2名) 補助額3,071,000円 ③債務負担行為の解消として、繰上げ償還を含め、35,021,212円を償還しました。また、国営印旛沼二期土地改良事業に係る基金に23,018,000円積み立てを行いました。	①高崎川護岸の改修により営農条件が改善され、安定した農業経営が図られました。 ②経営規模の拡大や経営改善に必要な農業用機械等の取得を支援することにより、担い手の育成・確保並びに地域農業の振興が図られました。 ③繰上償還により、総額で約700万円の負担軽減が図られます。 国営印旛沼二期土地改良事業の負担額については償還期間が長期で金利等多額になることから、基金積み立てにより将来負担の軽減が図られます。	○	経済環境課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②企業誘致	<p>企業立地優遇制度を掲載した「酒々井町企業立地のご案内」等を活用し、酒々井南部地区新産業団地と特に墨工業団地への積極的な企業誘致訪問を行います。</p>	<p>優良企業の誘致・立地を促進するため、「酒々井町企業立地の案内」を作成し、千葉県をはじめ県内主要企業や金融機関等に配布しました。酒々井南部地区新産業団地については、区画の約98%の土地利用(売買、賃貸)が決まっており、順次、物流施設等多様な事業者の施設着工が始まっています。また、墨工業団地については、4区画のうち2区画が依然未利用地となっていますが、進出を希望する事業者もいることから、酒々井町企業立地促進条例による本町への企業進出の優位性をPRし、積極的な企業誘致に努めていきます。</p>	<p>企業立地の進展により、企業の固定資産税や法人町民税などの税収の確保、雇用環境の改善、誘客施設の開業等による町の魅力向上などの成果がありました。</p>	○	経済環境課
③観光施策	<p>町の特産品をJR酒々井駅のケースディスプレイに展示するほか、酒々井プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」における特産品のPRと観光案内を強化していきます。また、新規に町の観光や特産を紹介する施設の実現に向けた事業に取り組んでいきます。ちびっこ天国は、指定管理者制度を導入し、平成19年度から10年間にわたり外部に運営管理を委ねてきましたが、これまでの受託業者が撤退を表明し、新たな指定管理者の応募もなかったことから、平成29年度は休園とします。今後のあり方について、ちびっこ天国の再開、公の施設としての活用、施設の多目的利用などを含め、様々な可能性を検討します。酒々井コミュニティプラザとハーブガーデンは、利便性の向上と機能強化を目指し、施設改修に向けた実施設計を行います。</p>	<p>JR酒々井駅自由通路に乗降する観光客に対し町の特産品を展示しPRをしています。酒々井コミュニケーションセンターでは、酒々井プレミアム・アウトレットの来場者に対し町の観光・物産情報を周知し、町内への誘因をしています。3月末までに29,903名の来場者がありました。酒々井ちびっこ天国については、今後の在り方について検討を続けます。酒々井コミュニティプラザとハーブガーデンについては、7月に基本設計業務委託契約を締結し、12月に完了しています。来年度には、実施設計業務を委託する予定です。</p>	<p>町の観光物産に関する情報を発信することができました。コミュニティプラザとハーブガーデンについては、より多くの方が訪れる施設を作るという考え方で基本設計を行っています。</p>	○	経済環境課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課																																																																								
<b>◆地域社会と行財政施策</b>																																																																													
①住民参加・協働	<p>地域の皆さんが互いに知り合い、交流を深めることのできる公益活動の拠点として「井戸端」及びまちづくり研究所のミーティングルームの支援・充実を図ります。</p> <p>住民が行う自由で自発的な公益活動である住民活動を支援し、住民参加による地域社会の発展及び協働のまちづくりの推進に資することを目的とした事業について補助金を交付します。</p> <p>地域住民主体の都市公園等の環境美化活動等への支援や生活環境整備工事に必要な資材等の支給を行います。</p> <p>地域課題解決や新たな町の政策形成等に寄与する創造的なまちづくりの研究事業を行う酒々井まちづくり研究所の管理運営と、「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」を開催します。</p> <p>昨年度開始した「100年安全・安心に住めるしすいづくり事業」を推進し、町と住民等の行政情報と地域情報を共有できるGIS地図情報システムを活用した住民の安全・安心なまちづくりを進めています。</p>	<p><b>「井戸端」利用実績(延べ)</b></p> <table border="1" data-bbox="786 384 1608 798"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>小計(上半期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体</td> <td>26件 248人</td> <td>25件 224人</td> <td>23件 231人</td> <td>23件 216人</td> <td>15件 127人</td> <td>18件 200人</td> <td>130件 1,246人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>132人</td> <td>149人</td> <td>159人</td> <td>152人</td> <td>118人</td> <td>114人</td> <td>824人</td> </tr> <tr> <td>うち60歳以上</td> <td>118人</td> <td>131人</td> <td>148人</td> <td>134人</td> <td>108人</td> <td>108人</td> <td>747人</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計(実績)</th> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>18件 170人</td> <td>21件 206人</td> <td>18件 188人</td> <td>13件 139人</td> <td>20件 190人</td> <td>21件 227人</td> <td>241件 2,366人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>126人</td> <td>117人</td> <td>109人</td> <td>124人</td> <td>111人</td> <td>123人</td> <td>1,534人</td> </tr> <tr> <td>うち60歳以上</td> <td>122人</td> <td>102人</td> <td>105人</td> <td>108人</td> <td>105人</td> <td>116人</td> <td>1,405人</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>協働のまちづくり研修会</b></p> <p>平成29年11月12日実施 第5回「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」 (参加者)一般・職員210名</p> <p>平成29年9月12日実施(参加者)一般 23名</p> <p>平成30年2月15日実施(参加者)職員 15名</p> <p>平成30年2月27日実施(参加者)職員 17名</p> <p><b>公園等愛護活動推進事業認定団体</b></p> <table border="1" data-bbox="952 1058 1608 1098"> <tr> <td>実施団体</td> <td>14 団体</td> <td>実施公園等</td> <td>20箇所</td> </tr> </table> <p><b>資材等支給事業実施実績</b></p> <table border="1" data-bbox="952 1134 1608 1174"> <tr> <td>実施地区</td> <td>4地区実地／新堀、大崎(2件)、飯積</td> </tr> </table> <p><b>酒々井の里山林協働再生事業実施実績</b></p> <table border="1" data-bbox="952 1211 1608 1251"> <tr> <td>実施地区</td> <td>2地区実地／飯積、本佐倉</td> </tr> </table> <p><b>100年安全・安心に住めるしすいづくり事業</b></p> <p>職員研修等 3日間実施 参加者延べ21名</p>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計(上半期)	団体	26件 248人	25件 224人	23件 231人	23件 216人	15件 127人	18件 200人	130件 1,246人	個人	132人	149人	159人	152人	118人	114人	824人	うち60歳以上	118人	131人	148人	134人	108人	108人	747人		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(実績)	団体	18件 170人	21件 206人	18件 188人	13件 139人	20件 190人	21件 227人	241件 2,366人	個人	126人	117人	109人	124人	111人	123人	1,534人	うち60歳以上	122人	102人	105人	108人	105人	116人	1,405人	実施団体	14 団体	実施公園等	20箇所	実施地区	4地区実地／新堀、大崎(2件)、飯積	実施地区	2地区実地／飯積、本佐倉	<p><b>【井戸端】</b></p> <p>平成28年度の利用実績と比較すると個人利用者は73名減少し、うち60歳以上者については107名の減となっておりますが、団体活動での利用者については234名増加し、全体利用者は3,900名(+161名)と増加しています。この数値から見ても目的を持ったボランティア団体の活動が根付いてきた成果であり、高齢者のとじこもり防止や地域での交流に寄与していると思われます。</p> <p><b>【公園等愛護活動推進事業】</b></p> <p>14団体が認定済。20箇所の公園等で美化が推進されました。</p> <p><b>【資材等支給事業】</b></p> <p>4地区実施(道路整備、排水路土留工事等)</p> <p><b>【酒々井の里山林協働再生事業】</b></p> <p>2地区実施(①湧水周辺の公園化(粉碎した木・竹の有効利用(散策路整備)②城跡地内の景観整備(竹林等の除伐・粉碎)</p> <p><b>【100年安全・安心に住めるしすいづくり事業】</b></p> <p>庁内GISポータルサイトの構築</p>	○	住民協働課
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計(上半期)																																																																				
		団体	26件 248人	25件 224人	23件 231人	23件 216人	15件 127人	18件 200人	130件 1,246人																																																																				
		個人	132人	149人	159人	152人	118人	114人	824人																																																																				
		うち60歳以上	118人	131人	148人	134人	108人	108人	747人																																																																				
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(実績)																																																																				
		団体	18件 170人	21件 206人	18件 188人	13件 139人	20件 190人	21件 227人	241件 2,366人																																																																				
		個人	126人	117人	109人	124人	111人	123人	1,534人																																																																				
		うち60歳以上	122人	102人	105人	108人	105人	116人	1,405人																																																																				
		実施団体	14 団体	実施公園等	20箇所																																																																								
実施地区	4地区実地／新堀、大崎(2件)、飯積																																																																												
実施地区	2地区実地／飯積、本佐倉																																																																												

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②人権施策	さまざまな人権問題の解決を目指し、あらゆる差別の撤廃と人権尊重の意識を高めるため、講演会、人権啓発ポスター展や街頭啓発などの啓発活動を行います。また、隣保館における各種事業や「隣保館まつり」を支援します。	平成29年10月7日第5回隣保館まつりを実施しました。隣保館事業の各教室の発表会、作品の展示、模擬店を出店、当日は286名の参加がありました。平成29年12月2日「みんなで人権を考える集い」を開催、中学生の人権作文の発表と落語家の林家うん平師匠による「人権落語の講演」を実施しました。平成29年12月4日から11日まで町内の小学6年生による人権ポスター展を中央公民館ロビーで開催しました。(展示数187点)また、優秀作品を各校から1点選出し、人権ポスターとして作成し、町内の公共施設、駅、銀行、スーパー、商店で掲示しました。平成29年12月8日人権擁護委員による街頭啓発活動及び広報車による巡回啓発を行いました。	今回で5回目となる隣保館まつりは、人権啓発と地域交流を広めるきっかけづくりとして定着しており、地域福祉活動としての効果が期待されています。「みんなで人権を考える集い」は、人権講話と古典落語を交えた講演で、町を超えた人権啓発事業の取り組みとして成果を上げています。	○	健康福祉課
③シティプロモーション活動	町マスコットキャラクターを積極的に活用し、県内外の様々なイベントなどで酒々井町の施策や魅力等を町内外に広く情報発信するシティプロモーション活動を推進し、交流人口増加や定住促進を図ります。	町マスコットキャラクターを活用し、酒々井町でのイベントはもとより、県内外で行われる、イベントなどで町の情報発信するシティプロモーション活動を推進するとともに、井戸っこ(しすいちゃん)ミュージックビデオのお披露目会を開催しました。 井戸っこ(しすいちゃん)MVお披露目式…平成29年5月13日(土) PRイベント参加状況…36件	町マスコットキャラクターを活用することにより、多世代の方々へのシティプロモーション活動を実施することができました。それにより、町の知名度を向上させ、交流人口の増加や定住の促進を図るための一助となりました。	○	企画財政課
④酒々井町・まち・ひと・しごと創生総合戦略	高品質でおしゃれなコンパクトシティの創造を推進していくため、空き家バンク、外国人おもてなし事業、子どもホームページの開設などの事業に取り組みます。	高品質でおしゃれなコンパクトシティの創造を推進していくため、「酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略～100年安心して住めるまちづくりプラン～」に基づき事業に取り組みました。 ・空き家バンク事業 千葉県宅地建物取引業協会印旛支部及び庁内関係課と調整を図り、町の状況に沿った空き家バンクの事業化に向け調整を図りました。 ・外国人おもてなし向上事業 通訳が必要な外交人対応のため、多言語通訳アプリを導入したタブレットを酒々井コミュニケーションセンターや役場窓口担当課など9台配置し、常に有事に備えました。 ・子どもホームページの開設 酒々井町の子どもの郷土愛の醸成を図ることを目的に、子どものころから町の歴史・文化など様々な情報に親しむため、新たに子どもホームページを構築しました。	外国人おもてなし向上事業では、同時通訳アプリを活用し、外国人保護者と円滑に乳児相談を実施できました。また、子どもホームページの開設では、平成30年度公開に向け根幹となるページを構築することができました。	○	企画財政課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑤情報管理	高度情報化社会に対応した効率的な行政サービス向上のため、必要なハードウェア及びソフトウェアの運用及び維持管理を行います。	<b>【機器更新】</b> ・事務用パソコン更新 30台 ・プリンタ更新 3台 <b>【セキュリティ対策】</b> ・総務省による「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」を受け庁内ネットワークとインターネットの分離及び千葉県自治体情報セキュリティクラウドへの接続(100%)	・老朽化したパソコン等の定期的な更新を行うことで、住民サービスの向上、事務の効率化等を進めました。 ・ネットワーク分離によりマルウェア等の感染による行政情報等流失を防ぐとともに、インターネット接続の監視及びログ分析・解析を行い高度なセキュリティ対策を実施しました。	○	総務課
⑥戸籍・住民基本台帳	平成28年度から運用の始まった「社会保障・税番号制度」による個人情報保護の意識の高まりに応え、窓口ではこれまで以上に慎重で、丁寧な対応に努めます。また、戸籍、住民票等の作成管理、住民の基本的な権利・義務の発生、国籍の確認、身分事項の変更等を正確かつ適正に管理し、住民サービスの増進を図ります。	<b>「通知カードの再発行」や「マイナンバーカードの作成」業務について理解を深め個人情報の保護に努めました。</b> 平成29年度 通知カードの再発行 148件 平成30年3月末 マイナンバーカードの発行 2,719枚	職員間の情報の共有化やチェック体制を確実にし、正確かつ適性に事務を進めることができました。また、待ち時間の短縮を常時心がけて事務を遂行しました。	○	税務住民課

H29施策 (事業)名	H29施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑦税の確保	各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収に努めます。	<p>【住民税班】 平成30年2月16日から3月15日の平日、公民館2階研修室を会場に所得税及び住民税の相談業務を実施しました。日数：20日（前年度20日） ・所得税申告：2,036件（前年度2,002件）34件増 ・住民税申告：693件（前年度716件）23件減</p> <p>【資産税班】 ◎課税客体調査業務等 ・酒々井町固定資産評価基礎資料整備及び土地評価業務（10,432,800円） 固定資産の課税客体（土地及び家屋）を的確に把握するため、航空写真や地番図等の課税基礎資料を整備するとともに路線価の付設・見直しや画地計測等の土地評価を実施しました。 また平成30基準年度評価替え用の公開資料を作成し、納税者等からの問い合わせに備えました。進捗率：100%</p> <p>【収税班】 町税等の公平性を確保し、未納金の徴収を効果的に推進するため、きめ細やかな財産調査に基づく差押え等の滞納処分を行いました。 また、接触の取れない滞納者には、12月に休日臨戸徴収や千葉県税務所との共同臨戸徴収による納税交渉を行いました。</p>	<p>【住民税班】 相談業務を行うと同時に申告内容を電算システムに取り込むことにより、個人住民税の平成30年度の当初賦課に向けた基礎数値を把握することができました。</p> <p>【資産税班】 課税客体（土地及び家屋）の現況を的確に把握することで、適正かつ公平な課税を行うことができました。また評価替え業務の一部を民間会社に委託することで、複雑な作業や見直し業務を合理的かつ効率的に行うことができました。</p> <p>【収税班】 町税全体の対調定収納率は、現年課税分が91.66%で前年度比0.93ポイントの増、滞納繰越分は27.99%で前年度比2.27ポイントの増となりました。</p>	○	税務住民課
⑧庁舎管理	防災倉庫の整備をはじめ老朽化した庁舎備品等の整備を進めていきます。	当初の目標どおり、老朽化した庁舎備品等の整備を実施することができました。 防災資機材等備蓄施設では、平成30年度に建築設計及び建築工事を予定していることから、当該用地に擁壁設置工事及び雨水排水対策のため、用地整地工事を実施しました。	老朽化した備品の更新により、安全かつ円滑な会議等の運営を行うことができるようになりました。	○	企画総務課 財政課